

朝日大学独自の奨学金制度

特長

卒業後の返還不要

有資格者は全員給付

最大4年間継続給付

朝日大学では、法学部・経営学部・保健医療学部の複数の入試区分において充実した返還不要の奨学金を設けており、学生生活が実り多いものとなるようサポートします。

- ・奨学金給付(貸与)の決定は、受験した入試の合格と同時にお知らせします。
- ・奨学金の給付(貸与)対象者は、本学に入学する年の4月1日に22歳以下で、下記の要件に合致した者となります。

保健医療学部看護学科

種別	給付内容	対象となる入試と要件
授業料の 100%	36.25万円/年 給付 (1年次)	一般入試Ⅰ期・共通テスト利用入試Ⅰ期の合格者のうち成績上位の者5名
	72.5万円/年 給付 (2年次～4年次)	
Ⅱ種 授業料の 50%相当	36万円/年 給付 (2年次～4年次)	一般入試Ⅰ期・共通テスト利用入試Ⅰ期の合格者のうちⅠ種の対象者5名を除く成績上位の者15名

(申請は8月末日締切。審査の後、奨学金貸与の可否を決定。指定校推薦入試における優先枠への申請状況により、保健医療学部看護学科に入学し、朝日大学病院に勤務を希望する方を対象に、月5万円の奨学金を貸与します。卒業後、貸与期間と同等期間を勤務することで、奨学金の返還を免除します。全ての入試区分が対象で、看護学科特別奨学金との併用も可能です。

募集がない年度があります。)

※朝日大学病院への勤務は、採用試験に合格すること及び看護師国家試験に合格することが前提となります。

授業料の
95%相当
(4年間貸与の場合)

＜奨学金貸与金額＞

月額 50,000円

合計 240万円

※貸与期間は最長4年間

指定校推薦入試に優先枠20名を設定

指定校推薦入試の志願者は、入学願書と学校法人朝日大学看護師奨学金の申請書類を同時に提出することで、優先枠に申請することができます。これにより、入学前に奨学金貸与の可否が決定され、入学時から貸与が開始されます。

※奨学金申請の志願者は、出願時に所定の奨学金申請書類の提出と、指定校推薦入試の際に別途実施する学校法人朝日大学看護師奨学金の審査(面接)を受けていただきます。

● 法学部 / 経営学部 / 保健医療学部

奨学金チャレンジ制度 ※適用要件及び2年次以降の継続については、「学業奨励奨学金」及び「看護学科特別奨学金」と同様の扱いとなります。

信長入試、適性評価入試、探究学習評価入試、指定校推薦入試及び一般推薦入試の合格者で入学手続を完了した者が、奨学金(既に奨学金が給付されている方はより給付額が大きい奨学金)にチャレンジすることができる制度です。「共通テスト利用入試Ⅰ期」(既に入学手続が完了した同一の学部学科のみ可)に、入学検定料免除で受験できます。

なお、奨学金チャレンジ制度の入試結果により、既に入学手続を完了した入試の合格を取り消すことはありません。

対象者	信長入試、適性評価入試、探究学習評価入試、指定校推薦入試、一般推薦入試の合格者で入学手続を完了した者		
申請方法	上記の合格発表時に案内する書類に従い、「奨学金チャレンジ制度」の申請手続を行ってください。 1. 「奨学金チャレンジ申請書」の提出 ※申請書は、合格発表時にダウンロードができます。 2. 入学手続が完了した同一の学部学科の「共通テスト利用入試Ⅰ期」に出願(入学検定料免除) ※出願登録時に、「奨学金チャレンジ申請書」に記載の方法で出願登録を行うことで、「共通テスト利用入試Ⅰ期」の入学検定料が免除になります。 ※出願確認票とあわせて「成績請求チケット」を提出してください。(本学は「チケット方式」です。) ※調査書の提出は不要です。		
申請期間	2026年1月6日(火)～2026年1月26日(月)の間に、 ①共通テスト利用入試Ⅰ期に出願し、 ②「奨学金チャレンジ申請書」と「出願確認票」及び「成績請求チケット」を郵送してください。		
給付額	● 法学部、経営学部、保健医療学部健康スポーツ科学科・救急救命学科 ・「学業奨励奨学金」の共通テスト利用入試と同様の扱いとなります。		
	I種	授業料の 100% 法学部 / 経営学部 68.5万円/年 給付	保健医療学部 健康スポーツ科学科・救急救命学科 72.5万円/年 給付 共通テスト利用入試Ⅰ期において、 総点の70%以上を取得した場合
	II種	授業料の 50%相当 法学部 / 経営学部 34万円/年 給付	保健医療学部 健康スポーツ科学科・救急救命学科 36万円/年 給付 共通テスト利用入試Ⅰ期において、 総点の60%以上を取得した場合
	● 保健医療学部看護学科 ・「看護学科特別奨学金」の共通テスト利用入試と同様の扱いとなります。		
	I種	授業料の 100% 36.25万円/年 給付 (1年次) 72.5万円/年 給付 (2年次～4年次)	共通テスト利用入試Ⅰ期の成績上位の者5名※
	II種	授業料の 50%相当 36万円/年 給付 (2年次～4年次)	共通テスト利用入試Ⅰ期のうち授業料100%の対象者5名を除く成績上位の者15名※
※「奨学金チャレンジ申請者」以外の受験者も含む			
採用通知	該当者には2026年2月17日(火) 16:00にPost@netの「合否結果照会」で「奨学金チャレンジ制度」による奨学金の結果を通知します。		
その他	奨学金チャレンジ制度により奨学金給付の対象となった場合には、既に納付された入学手続時納付金のうち差額分を返還します。 ※法学部、経営学部、保健医療学部健康スポーツ科学科・救急救命学科において、既に学業奨励奨学金Ⅱ種の対象になっている場合で、奨学金チャレンジ制度により学業奨励奨学金Ⅱ種に該当した場合は重複して奨学金は給付されません。		

奨学金が4年間給付された場合の学費

【参考】 国立大学の学費 4年間合計 **242万5,200円** ※文部科学省令による標準額

(保健医療学部看護学科)

4年間の学費 563万7,500円 ※諸会費は除く	－	授業料の 100%給付 (1年次～4年次) 253万7,500円	=	奨学金を 給付後の学費 310万円
	－	授業料の 50%相当給付 (2年次～4年次) 108万円	=	奨学金を 給付後の学費 455万7,500円

その他の奨学金等

● 全学部

朝日大学・みずほ銀行提携奨学融資制度

独自の奨学融資制度で在学中に学費負担を大幅に軽減

制度に関するお問い合わせ・ご相談 株式会社ジャパンデンタル 058-326-8191

朝日大学で学ぶ意思がありながら、経済的理由により就学を断念することがないように、在学中の経済的不安を解消し、勉学に専念できるように配慮した本学独自の経済支援制度を用意しました。この制度は朝日大学とみずほ銀行が独自に提携し、一般の教育ローンと比べて低金利で有利な諸条件を実現したものです。

- 入学金を除く、学費のうち法学部・経営学部は368万円、保健医療学部看護学科は532万円、保健医療学部健康スポーツ科学科は400万円、保健医療学部救急救命学科は448万円、歯学部は1,752万円を上限とする融資です。
- 学費の支払時期にあわせて、融資が分割して実行されますので、融資残高が徐々に増加し利息の支払いを最小限に抑えることができます。
- 元金の返済を在学中(最大6年間又は4年間)据え置きすることも可能です。在学中は利息のみの支払いとなります。
- 利息部分の軽減を目的とした奨学金(学資借入支援奨学金)があります(下記参照)。
- 受験する入試区分の出願締切日30日前までにお申し込みが必要です(最終申込1月31日)。

学資借入支援奨学金制度

制度に関するお問い合わせ・ご相談 学生・スポーツ支援課 058-329-1083

この制度は、在学生の学費支弁者が、学生納付金のために金融機関から借入れた学費相当額に対する支払利息の一部を奨学金として給付する制度です。

- 奨学金の給付額は、本学が別に定める奨学金給付額の算定の基礎となる基準に、本学が別に定める奨学金給付率を乗じて算定します。
- 詳細についてはお問い合わせください。

大学進学における奨学金

奨学金には次の3つのタイプがあります。

給付型

奨学金の返還は不要です。

貸与型

卒業後、奨学金の返還が必要です。

免除型

卒業後、条件を満たすことにより奨学金の返還が免除されます。

朝日大学の独自奨学金は安心の**給付型**が中心です。

国の「高等教育の修学支援新制度」により「授業料・入学金の免除・減額」を同時に受けることが可能です。

朝日大学独自の奨学金

給付型

法学部・経営学部・保健医療学部健康スポーツ科学科・保健医療学部救急救命学科

・学業奨励奨学金 ・スポーツ奨励奨学金 ・吹奏楽奨励奨学金
・会計奨励奨学金 ・高度資格取得奨励奨学金

保健医療学部看護学科

・看護学科特別奨学金

免除型

学校法人朝日大学 看護師奨学金

日本学生支援機構奨学金

(高校在学中又は大学入学後に申請が必要)

給付型

国の「高等教育の修学支援新制度」

日本学生支援機構「給付型奨学金」の対象者は、「授業料・入学金の免除・減額」を同時に受けることができます。
朝日大学は「高等教育の修学支援新制度」の対象校です。

貸与型

(無利子)

第一種奨学金

(有利子)

第二種奨学金